

JA滋賀蒲生町の現況2015

 滋賀蒲生町農業協同組合

はじめに

日頃、皆さまには格別のご愛顧をいただき厚く御礼申し上げます。

J A滋賀蒲生町は、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当 J Aに対するご理解を一層深めていただくために、当 J Aの主な事業の内容や組織概要、経営の内容などについて、利用者のためにわかりやすくまとめたディスクロージャー誌「J A滋賀蒲生町の現況 2015」を作成いたしました。

皆さまが当 J Aの事業をさらにご利用いただくための一助として、是非ご一読いただきますようお願い申し上げます。

今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 27 年 7 月 滋賀蒲生町農業協同組合

(注) 本冊子は、農業協同組合法第 54 条の 3 に基づいて作成したディスクロージャー誌です。

J A 綱 領

— わたしたち J A のめざすもの —

わたしたち J A の組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則(自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等)に基づき行動します。そして地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. J A への積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、J A を健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

目 次

あいさつ

1. 経営理念	1
2. 経営方針	2
3. JAの組織の概要	5
4. 事業の概況(平成26年度)	10
5. 農業振興活動	13
6. 地域貢献情報	13
7. リスク管理の状況	14
8. 自己資本の状況	20
9. 主な事業の内容	20

【経営資料】

I 決算の状況

1. 貸借対照表	26
2. 損益計算書	28
3. キャッシュ・フロー計算書	30
4. 注記表	32
5. 剰余金処分計算書	50
6. 部門別損益計算書(平成26年度)	51
7. 財務諸表の正確性等にかかる確認	52

II 損益の状況

1. 最近の5事業年度の主要な経営指標	53
2. 利益総括表	54
3. 資金運用収支の内訳	54
4. 受取・支払利息の増減額	54

III 事業の概況

1. 信用事業	55
(1) 貯金に関する指標	
① 科目別貯金平均残高	
② 定期貯金残高	

(2) 貸出金等に関する指標

- ① 科目別貸出金平均残高
- ② 貸出金の金利条件別内訳残高
- ③ 貸出金の担保別内訳残高
- ④ 債務保証の担保別内訳残高
- ⑤ 貸出金の使途別内訳残高
- ⑥ 貸出金の業種別残高
- ⑦ 主要な農業関係の貸出金残高
- ⑧ リスク管理債権の状況
- ⑨ 金融再生法開示債権区分に基づく保全状況
- ⑩ 元本補てん契約のある信託に係る貸出金のリスク管理債権の状況
- ⑪ 貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額
- ⑫ 貸出金償却の額

(3) 内国為替取扱実績

(4) 有価証券に関する指標

- ① 種類別有価証券平均残高
- ② 商品有価証券種類別平均残高
- ③ 有価証券残存期間別残高

(5) 有価証券等の時価情報等

- ① 有価証券の時価情報等
- ② 金銭の信託の時価情報等
- ③ デリバティブ取引、金融等デリバティブ取引、有価証券関連店頭
デリバティブ取引

IV 経営諸指標

1. 利益率	63
2. 貯貸率・貯証率	63

V 自己資本の充実の状況

1. 自己資本の構成に関する事項	64
2. 自己資本の充実度に関する事項	66
3. 信用リスクに関する事項	67
4. 信用リスク削減手法に関する事項	71
5. 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項	72
6. 証券化エクスポージャーに関する事項	72
7. 出資等エクスポージャーに関する事項	73
8. 金利リスクに関する事項	75

VI 役員等の報酬体系	
1. 役員	76
2. 職員等	77
3. その他	77

あいさつ

組合員、地域の皆様には、日ごろから JA 滋賀蒲生町の事業全般の運営にそれぞれの立場で参画いただきありがとうございます。

日本経済は、株価を中心に緩やかな回復が続いているとみられるものの、回復の実感が伴わない状況が続いています。農業に関しては、平成 26 年度は、TPP 交渉を大きく前進させる動きや 60 年ぶりの農協法改正、JA グループの自己改革といった課題に対する協議が進められた年でありました。当 JA においては、第 5 次中期経営計画と第 4 次地域農業振興計画の中間年度として取り組むとともに、米価下落対策や農業政策の変更に伴う対応を中心に事業を展開いたしました。その結果として事業利益 6,019 万円、経常利益 7,488 万円、当期末処分剰余金 1 億 4,777 万円の成果を上げることが出来ました。

農業や JA をめぐる経営環境が大きく変化する中ではありますが、蒲生地域の農業を守り、農産物の安定生産と組合員の豊かな生活を実現するため、皆様と共に一生懸命取り組んでまいり所存です。

平成 27 年度は、第 4 次地域農業振興計画、第 5 次中期経営計画の最終の年として、『次代へつなぐ協同』を合言葉に、持続可能な農業の実現、豊かで暮らしやすい地域社会の実現、協同組合としての役割発揮を 3 本の柱として、将来の JA 滋賀蒲生町の目指す姿を見据え、人が集まる「協同の場」づくりを基本に、「農業づくり・地域づくり・組織づくり」の具体策として「JA 地域農業戦略」「JA 地域暮らし戦略」「JA 経営基盤戦略」の実践を更に推し進めてまいります。組合員・利用者・地域の皆様の期待と負託に応えられるよう変革を進め、蒲生の地域特性を活かした戦略に取り組んで参りますので、組合員の皆様の積極的な JA 活動への参加と事業改革へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当 JA は、情報開示を通じて経営の透明化を高めるとともに、当 JA に対するご理解を一層深めて頂くために、組織の概要や事業内容、経営の内容などについて、利用者の皆さまにわかりやすくまとめたディスクロージャー誌を作成いたしました。当 JA の事業を更にご利用いただく一助として、是非ご一読頂きますようお願い申し上げます。

平成 27 年 7 月
滋賀蒲生町農業協同組合
代表理事組合長 角 清和